



突然ピエロがやってきた

海老名総合病院の小児病棟で慰問

海老名総合病院（内山喜一郎病院長）の小児病棟にこのほど、2人のクラウン（ピエロ）が訪れ入院中の子どもたちや保護者らを驚かせた。

今回訪れたのはNPO法人日本ホスピタル・クラウン協会（大棟耕介代表）のメンバー。同院の内山院長が小児病棟の子どもたちを元気づけるとともに、同協会の活動を広く知ってもらうことを目的に、同協会に依頼し実現した。

クラウンは突然の訪問で緊張していた子どもたちに、おもちゃを使ったパフォーマンスや手品、パルーンアートを次々に披露し、子どもたちの緊張を和らげながら徐々に打ち解けていった。

しばらくすると固かった表情から笑顔がこぼれるようになり、握手やハイタッチをする場面も見られた。

同協会は全国の病院でパフォーマンスを披露。県内では県立こども医療センターに続き2カ所目となる。